

ぼらやき シルバー 人材センター

令和4年(2022年)
春号 No.126



もくじ

- 令和4年度運営方針を聞く 萩原係長 2
理事会だより／“事務局員つぶやき”
- 定時総会案内／シルバー説明会・桑原征平氏講演 3
／エールプレミアム商品券販売／出張入会説明会
- シルバー会員の在り方研修会 4
コロナ配送業務／梅林さんインタビュー
- 安全適正就業通信／除草・剪定研修／ 5
校区代表者会議／新広報委員挨拶
- ひろば／事務局体制／ホテルのタベ／ 6
発注者情報の私的流用 NG!!／編集後記

セピア色に染まる

疏水の夜桜

シャッター開放60秒

(大津市・琵琶湖疏水)

写真 宮野 正氏(事務局)提供

silver

★令和4年度方針 萩原係長に伺いました★

健康と安全を最優先に

— コロナ禍で働き方改革にも



新型コロナウイルス感染症がまん延する社会となつて今年で3年。繰り返す変異株の出現で収束の兆しはいまだに見えず、最もリスクの高い私たちシルバー世代は、日頃から感染防止への自覚が求められています。そうしたなか、活動第一線で陣頭指揮をとる事務局・萩原係長に、今年度の運営方針について伺いました。

— まず、今年度の方針について。

萩原 ようやく「まん延防止特別措置」が解除されましたが、新型コロナウイルス感染症の先行きはまだまだ不透明です。そのため前年度同様、会員さんの健康と安全を最優先に考えて事業を進めることが大前提になります。

また、活動基盤である茨木の地域社会が安定してこそ、センターの取り組みも発展できるとの考えのもとに、引き続き、市からのコロナ生活支援物資配送や買い物支援業務、また新たな事業受託の要望については積極的に応えていきたいと考えています。コロナ収束に向けて貢献すると同時に、公益法人にふさわしい事業を推進します。

— コロナ禍のもと、新しい取り組みを始めているとのことですが。

萩原 コロナ禍となり、産業界で進んでいるリモートの活用やオンライン技術の試行、検討など、これまでになく活動を展開します。

具体的には、事務局のリモートワーク体制を目指します。すでに試行的に職員がタブレットを持ち帰り、事務局のパソコンと接続して在宅での事務作業を進めています。有事の際に、皆さんに関わる契約や配分金処理などの業務が停滞することのないよう、リスクを減らす取り組みです。事務遂行のあり方を見直して、緊急時にも対応できる運営体制を構築します。また必要であれば、ZOOM映像、音声を活用したオンライン会議

議システム)を使用し、会員さんとコミュニケーションをとります。ZOOMはすでに理事会で活用されており、もっと活用の場を広げていきたいと考えています。

— 安全面でも着々と手を打っているとのことですが…。

萩原 夏場には話題となる熱中症の予防対策として、空調付き作業着の一部助成制度を導入します。また、除草班には作業効率に優れたチップソーを復活導入します。効率が良い反面、飛び石が生じやすく、4年前に使用を停止していました。昨年度は除草事故0も達成、効率面も考えて再導入を決めました。操作講習会も実施し、安全意識も高めての再チャレンジです。少しずつですが、働きやすい環境づくりにも力を入れていきます。(川野正照)

理事会だより

令和3年度 第5回理事会が3月18日にリモートで開催されました。

▼報告事項

- 入会申込書兼会員票の見直し
- 令和4年度定時総会について
- 諸般の報告
- 正会員の入会の件
- 役員意向調査の件

▼議案

- 令和4年度事業計画(案)
- 令和3年度第2次補正予算(案)
- 令和4年度当初予算(案)
- ▼その他
- コロナ配達支援・買い物代行業務進捗状況
- 北部ブロックフェスティバルの参加見送り
- 校区別会員増強取り組みである出張入会説明会の最終結果
- 会員研修会の結果(萩原啓輔)

Tweet 事務局員 つぶやき

困り事、相談事はまず事務局へ

この冬、就業上持ち上がった案件について、事務局に相談するのではなく、外部の団体に持ち込むというケースがありました。

これは、昨年10月に改定のあった請負・委託業務での最低賃金について、配分金がそれを下回っているのでは? というものでした。請負業務の場合、労働基準法の適用がないため、配分金が最低賃金を下回ることがあり、それは入会説明会でも、就業前にも説明しています。その説明を受けて、了承した上で就業開始をしていただいていると受けとめています。

その部分にご理解をいただけていなかったということ。このように、少しでも疑問がある場合は、担当職員まで気軽に問い合わせてください。

部外者への相談を否定はしませんが、シルバーは労務関係法適外など、シルバー独自のルールで運営されています。そのことを理解されていない第三者が間違った解釈で行動することで思わぬ事態を招くことにもなりかねません(発注者からの信頼失墜・就業場所の喪失・SCへの依頼控えなど)。

厳しい景気状況の中、少しでもこのようなことが起こらないよう疑問やお困りごととはまず、担当職員に尋ねてもらうようお願いいたします。担当職員で解決しない場合は係長・次長・局長・常務が対応します。

定時総会の案内

令和4年度シルバー人材センターの定時総会を左記の通り開催します。

なお、新型コロナウイルスの感染が不透明なのでクラスター予防の観点から、会員皆さまの健康と安全を最優先に考え、ご来場は極力控えていただき、委任状または議決権行使書を推奨させていただきます。

■日時

令和4年6月2日(木)
午後1時30分開会

■場所

茨木市・市民総合センター
(フリエイトセンター)・
センターホール

■案件

- 一、令和3年度
事業報告及び、決算の承認
- 二、令和4年度事業計画及び、予算の報告等

委任状、議決権行使書の提出は、5月26日(木)までとしますが早めの提出をお願いします。

※状況により場所の変更もあります。

普及啓発特別企画 第2弾

「桑原征平氏の特別講演」を同時開催

●2月5日(土)：福祉文化会館

普及啓発特別企画・第2弾は、センターの説明会と新聞等で大阪府のシルバー人材センターのコマースナルをされている桑原征平氏の講演会として同時開催されました。「伝説のアナ降臨！」というユニークなPRを新聞の折り込みで同時展開、市民・会員など96人の参加がありました。講演は、「元氣なシニアに知ってほしいシルバーのこと」をテーマに、仕事をしている人は皆さん元氣で、仕事がなくても外に出て

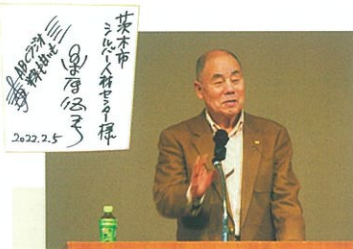


進行役の丸本職員

●会員増強の一翼を担う!

普及啓発特別企画第2弾の総合同会を担当しました。参加者にシルバー人材センターについて分かりやすく説明するとともに講演会のスムーズな進行に終日、努めました。今後も、経験を積み重ねてシルバー人材センターを幅広く知ってもらい、会員増強とセンターの発展に寄与していきます。

(丸本 由)



熱弁を振るう桑原征平氏

●プロフィール●

1944年生まれ、京都市出身。フリーアナ、種智院大学客員教授。関テレ時代は全国・関西を問わず、関テレの看板アナとして、情報・バラエティ番組を中心に活躍。現在は、ABCラジオ「桑原征平粋も甘いも」、「征平・吉弥の土曜も全開!!」などに出演中、お茶の間を賑わしています。

刺激を受けることは大切であるといった内容でした。経験豊富で聴く人を引きつける元氣で円熟味のある話に会場は終始、明るい笑いに包まれていました。その効果もあり、直後のアンケート結果では6人ほどの入会希望者があり、今後の会員増強に弾みがつきました。

●元氣をもらいました!

長引くコロナ禍、生活や行動も何かと制限され、ストレスを多少感じている中での講演でした。「大勢の人が自分の話を聴いてくれるのが楽しくて仕方がない」と言う気持ちのこもった熱弁に、元氣の源である好きな仕事をいつまでも続けていて、生き生きと豊かに暮らしている様は大いに刺激となりました。

講演後は穏やかな気持ちになって帰路につきました。(後藤政市)

エール商品券販売を引き受け地域活性化事業に一役

「創意工夫で努力するお店や会社にエールを、市民の皆さんには笑顔を」との思いで、1月早々からスタートした茨木市の「エール茨木プレミアム付商品券」。その販売にシルバー会員も参画、地域の経済活性化に一役買いました。

市から要請があったのは1月4日、21日と2月4日、28日の平日の販売業務。前半は茨木市役所の郵便局、後半は茨木市役所南館1階です。スタート直後から反響の大きさに購入希望者が急増。販売の10日後には2人から3人体制に切り替えて対処しました。(丸本 由)

校区での出張入会説明会

新入会員・18人誕生

各校区(31校区)で校区委員主導のもと、出張入会説明会が、令和3年度も10月から3月までの半年間開催されました。

最終的に、中央ブロックは7人の参加者から3人、北ブロックは15人の参加で5人、南ブロックは9人の参加で5人、東ブロックは8人の参加で2人、西ブロックは9人の参加で3人と、全体で48人の説明会の参加者から18人の新会員が誕生しました。これも説明会に参画いただいた校区委員のお力添えの賜物です。今年度も計画していますのでよろしく願います。(秋原啓輔)

社会の信頼と期待に応えるためにはシルバー会員の在り方



副理事長 池浦 豊

池浦 豊さんプロフィール
会員在籍歴13年。東プロックの太田校区班長、理事、就業開拓委員等を歴任。現在副理事長として2期目。

研修会を終えてみて

昨年10月と今年3月、合計10回にわたり、シルバー会員として、こうあってほしいと自分なりに思い描いていることを皆さんにお話しする機会をいただきました。自分でもよく続けて講師役が務まったなあと感慨深いものがあります。

当初は就業ルール、マナー順守中心の内容を考えたのですが、これでは通り一遍の説明会になってしまうと考え、私が特に伝えなかったこと、会員とし

コロナ配送業務

陽性者急増で利用者増大

会員&事務局力合わせ難局乗り切る

ご存じの通り、昨年3月1日から、茨木市の依頼で新型コロナウイルス感染症の陽性者、濃厚接触認定者の自宅待機者への買い物支援サービス、日用品配達支援サービス業務を行っています。

今年1月からのオミクロン株による第6波は、今までにない強烈な感染力で感染者が急拡大、配達数も急増し、センターとしての業務が追い

て知ってほしいことを中心に構成しました。

シルバー人材センターは、単に仕事の紹介だけではなく、健康や生きがいづくり、社会参加など、シルバーを紹介して心豊かに暮らしていける手助けをするために設立されています。

会員さんの中には、仕事を得るためにだけに入会されている方もいますが、入会動機で圧倒的に多いのは生きがいづくりであり、社会参加です。会員一人ひとりがシルバー人材センターの役割や存在意義を理解し、活動されているのであれば、就業ルールやマナー順守といった仕事をする上での当たり前の話は、本来必要ないこととなります。シルバー人材センターの設立要件である「健康づくり・生きがいづくり」にふさわしい条件と環境を作ることが目的とされていることから、全ての会員

付かず、頭を痛める事態となりました。そうした中、多くの会員さんの協力で、この難局を乗り切ることができました。

現在もSMSで対応可能な方を募集しています。志願された方、たまたま来所された方、ドロークラブの方にお手伝いいただくと、多くの会



ピーク時は配達商品が大会議室まで占領

さんが、シルバー人材センターを上手に活用し、シルバー理念に基づいて地域社会での活動やシルバー運営に協力参加することにより、圧倒的に多い入会動機・理由である、生きがい、社会参加を見つかることができますよ、ということを知ってもらいたかったのです。

そして今回、私の身近な例を上げてお話ししたことで、生きがいの大切さ、重要性を感じてもらったことができたのではないのでしょうか。また、キョウヨウ(今日用)・キョウイク(今日行く)・ガクセイ(楽生)をキーワードに生活することで、フレイル(加齢による心身の虚弱状態)に強い身体を維持することができるといことも伝えたいです。人生100年時代を健康で、生きがいを持って過ごすための一つの指針として、研修会が開催されたのだと理解していただければ、本研修の意味のあるものになるのではと思っています。

皆さんの力をお借りし、職員と力を合わせて業務を推進しています。ちなみに、3月31日時点の実績は、配達サービスが累計2534件で、買い物等支援サービスは累計95件となっています。

市からは、今年9月まで延長契約のお話をいただいております。4年度も業務を推進します。引き続き、会員の皆様にはご協力をお願いします。茨木市と連携して活動するシルバーの姿にNHKから取材申し込みがあり、3月14日夕方の「ほっと関西」29日「おはよう関西」と二度放映されました。

ちよっと大きな
絵てがみで
梅林さん 受賞



賞状を持つ梅林孝美さん
梅林孝美さんの絵てがみが、財団法人「くまの筆の里」のちよっと大きな絵てがみコンテストで入賞しました。

絵てがみはいつ頃から？
40代のころにやっていたトールペイントの師の紹介で始めて、26年間も続いており、今は後輩の指導もしています。

題材は季節の野菜など。本物を見て描くことを大切にしています。

——シルバーでは、他には？
今は小学校の受付をしています。また、書道同好会で、10名余りのメンバーと楽しくやっています。

数年前、広報の啓発活動の劇で金髪の外人役で出演し、笑いの中にシルバーをアピールできたことがとても楽しかったです。

健康面では、コレステロールに気をつけています。食べ物には嫌いな物なしで、白ご飯が大好き。朝食づくりの写真をフェイスブック、インスタグラムにも載せています。
(聞き手 橋本由紀子)

安全適正就業通信

目指そう

事故ゼロと健康管理

事故「ゼロ」を目指し、会員の安全就業と就業途上での交通事故防止の徹底を期すとともに、会員の健康管理意識の高揚を図ります。

事故原因の究明、対策等

安全就業への取り組み

安全就業基準の徹底

適正就業の徹底

会員の健康管理

安全・適正就業委員会の開催

気をつけよう コロナウイルス感染!

● 感染・濃厚接触者になったら必ずシルバー事務局へご連絡ください。
● 不要不急の外出は控え自宅待機。
自分自身の行動が大切な家族や同僚などに影響を与えるということとを今一度強く認識していただくことが重要です。

受診しよう 健康診断

年1回は必ず健康診断を受診しましょう! 簡単な検査や診察で分かることもあります。身体に異変を感じたら、早めに医師の診察を受けてください。
(伊澤正喜)

校区代表者会議開かる

令和3年度第2回校区代表者会議が3月28日、福祉文化会館・文化ホールで開催されました。
3密の回避が叫ばれたコロナ禍では、委員としての活動の場は限定された1年間となりました。
議題は、各校区(31校区)での出張入会説明会の結果報告、センターの活動状況報告、次年度校区委員の活動についての3点。
出張入会説明会は、10月〜3月に校区委員協力のもと、各校区の公民館やコミュニティセンターを会場に、より内容の濃い入会説明会を実施、新会員獲得を図りました。

除草・剪定 機材取り扱い研修会



研修風景(▲除草▼三脚)

2月24日に草刈り機取り扱い研修、3月24日にチェーンソー取り扱い研修、3月31日に三脚取り扱い研修を実施しました。
事故ゼロを目指します。
(萩原啓輔)

新広報委員あいさつ

昨春秋に、広報委員会を見学する機会をいただき、委員の皆様が活発に意見交換されている様子が印象に残っております。
シルバー人材センター入会以来、仕事以外で「皆で一緒に何かをする」ことをしたいと思っていたところに、広報委員会からお誘いがあり、やってみようと思った次第です。文章に取り組むことに関わったことがなく不安でいっぱいですが、新しいことをするワクワク感で乗り切りたいと思っています。楽しく読んでいただける機関誌作りを努めますのでよろしくお願いたします。
(井川恵子)

事故発生状況 (令和3年4月~令和4年2月28日)

発生日	職種	就業・途上	事故の種類	事故発生状況
令3. 5/ 1	清掃	就業中	傷害	バックカー清掃中、足を滑らせ転倒(脳震盪、擦り傷)。
6/ 9	清掃	就業中	傷害	清掃中ハイター水溶液で目の炎症。
6/23	校舎清掃	就業中	傷害	除草作業中、顔・腕など蜂刺され。
6/30	通学路	途上	傷害	歩行中に転倒、右足首をひねりひび。
7/19	公園管理	途上	傷害	現場に向かう途上で転倒、右鎖骨・右肋骨を骨折。
8/27	通学路	途上	傷害	帰宅途中、自転車で転倒。左手中指・左足親指付け根・右肋骨骨折、打撲。
9/20	施設清掃	就業中	傷害	控室ドアの段差で転倒。(左大腿骨の骨折と左前腕の切傷)
9/21	公園管理	途上	傷害	帰宅途中、信号待ち中にバランスを崩し転倒。(右足付け根大腿骨骨折)
10/ 8	校舎清掃	就業中	賠償	フェンスに絡まった草を除去中、センサーライトの電源ケーブルを切断。
11/ 9	施設清掃	途上	傷害	駐車場入り口不法駐車防止ポールに自転車が接触転倒。
11/24	剪定	就業中	賠償	作業中、隣家のカーポート屋根に尻餅をつき、アクリル部分を破損。
12/ 5	独自事業	途上	傷害	就業途上にて、バイクで転倒。
12/16	剪定	就業中	賠償	作業中、植木のイルミネーション用電線を切断。
12/22	福祉家事	途上	傷害	帰宅途中、T字路で急に来た自転車をよけきれず転倒。左足小指骨折。
令4. 2/15	施設整備	就業中	傷害	施設巡回中に足を滑らせ転倒、左唇裂傷、上顎の歯1本怪我。
2/20	清掃	途上	賠償	施設警備室入口の鍵紛失。
2/22	剪定	就業中	傷害	石垣上で剪定中、バランスを崩し、落下。(右側の鎖骨を骨折)

令和4年度の校区委員の活動は、コロナウイルス感染状況を考慮し、会員の健康と安全を最優先に前年度同様のセンター運営を行います。限られた活動になりますが、ご協力をお願いいたします。
(萩原啓輔)

